

核兵器のない 平和な世界を

国民平和進行される

5月6日、北海道礼文島を出発した国民平和進行・北海道-東京コースは、7月20日羽村市を通過しました。羽村市役所前での集会で、羽村市長からのメッセージ(右)が紹介され、福生市民会館近くの公園までの行進は、羽村市議団をはじめ、多くの市民が参加して行われました。

1954年、ビキニ環礁で行われた水爆実験がきっかけで始まった平和行進は今年50回目となりました。



2007年原水爆禁止国民平和進行に参加の皆様へ

原水爆禁止国民平和進行にご参加の皆さん、本日は誠にご苦労様です。また、平和行進を始めて以来、今年で50周年を迎えるとのことで、ここに参加の皆さまをはじめ、関係の皆さま方のご尽力に対し、心から敬意を表します。

わが国は、世界で唯一の被爆国として、核兵器による悲惨な体験をしてきましたが、歳月の経過とともに、被爆国としての記憶も薄らいでいきます。しかし、戦争を知らない若い世代にも、戦争の悲惨さを伝え、平和や命の尊さを継承していくことは、私たちに課せられた重要な使命と考えております。

羽村市としても、憲法の平和精神を守り、世界の人々と手を携えながら、戦争の防止と、核兵器のない世界平和の実現に向け、平成7年8月に「平和都市宣言」を行うとともに、これまで数十年間にわたり平和思想の普及活動に取り組んできました。また、羽村市議会においても、平成17年6月「核兵器廃絶実行のために日本政府の尽力を求める意見書」を内閣総理大臣や外務大臣などに提出し、市民のみなさまと一緒に、世界平和の実現に取り組んでいるところです。

昨年10月、朝鮮民主主義人民共和国において、世界の平和を願う多くの国々の思いを無視し、核実験が行われましたが、平和を希求する全世界に対する暴挙といわざるを得ず、羽村市としても直ちに抗議を行うとともに、核兵器に関するすべての計画を撤廃することを要請いたしました。

依然として、世界各国では、地域紛争やテロが絶えることなく、人々の生命や生活が脅かされ続けていることはきわめて遺憾なことでありますが、私も平和を願う羽村市民を代表して、不戦と恒久平和を誓い、この美しい郷土を未来に伝えていくために、国際平和の実現に向けて、絶え間ない努力を続けていく覚悟です。

最後になりますが、この平和進行の大成功を祈って、私からのあいさついたします。

平成19年7月20日

東京都羽村市長 並木 心

6月議会を終えて.....

今後とも 市民の願い実現、市民に開かれた議会への改革めざしががんばります・・日本共産党羽村市議団

日本共産党羽村市議団は、市議選で示した公約の実現めざし取り組み、学童保育の待機児の一部解決など、市民の願い実現へ一歩ふみだすことができました。議会運営については、これまでかなりの陳情が「議長処理」として、委員会で審議されませんでした。新政会(自民党)、公明党議員が減ったこともあり、6月議会ではすべて委員会で審議されました。また、審査にあたって、市民の参加を主張しましたが、新政会、公明党などの反対で実現しませんでした。ひきつづき市民要求実現、議会改革にむけて市民の皆さんとともにがんばる決意です。

羽村民報

2007年7月28日 No. 858
発行 羽村民報編集委員会
責任者 野崎 衷

日本共産党羽村市委員会事務所
電話 579-2132 FAX 579-2106
<http://www.jcphamura.org>

無料法律相談

8月14日(火)午後1時半~
羽村市委員会事務所 *要予約
中原まさゆき TEL 554-1163
市川 えい子 TEL 554-1140
鈴木たくや 080-1058-9450

